



「我ら市民救命士」

(AEDを用いた蘇生法の講習会)

私たちの行動で救える命があります。

街角で突然人が倒れたときに救急車を呼ぶほかに何か出来ることはないでしょうか？

救急車到着までの間に心肺蘇生をすることにより救命率が高くなるそうです。

ようやく佐賀県でもでも AED (自動除細動器) が公共施設、駅、空港、学校、店舗など人の集まる場所に設置されましたが、一般の方への認知度は低く、どのようなときに使えばいいのか、わからない方も多いのが現状です。

AED の使用は音声で誰でも使えるようになっていますが、実際には AED 講習を受講しなければ緊急のときには使うことは出来ないと思います。

AED は CPR (心肺蘇生法) が出来て初めて最大限の効果を発揮するので救急法の習得も必要です。

そこで、佐賀大学救急医学講座では佐賀レスキューサポート・バイクネットワーク (佐賀 RB) と協力して、とっさの時にあわてず行動が出来るように心肺蘇生法の講習会を開催します。

佐賀 RB 会員でなくても一般市民の受講が出来ますので、参加をお願いします。

※ なおこの講習は普通救命救急講習ではありませんので認定書等はありません。

日 時 平成 19 年 9 月 3 日 (月) 18:00 から 22:00 まで

場 所 佐賀市駅前中央 1 丁目 8-32 iスクエアビル 4 階 C 会議室

主 催 佐賀大学医学部救急医学

共 催 佐賀レスキューサポート・バイクネットワーク(佐賀 RB)

参加料は社会人 1,000 円 学生 500 円 (人工呼吸用マスク、資料代他)
会場の定員もありますので事前に連絡をお願いします。

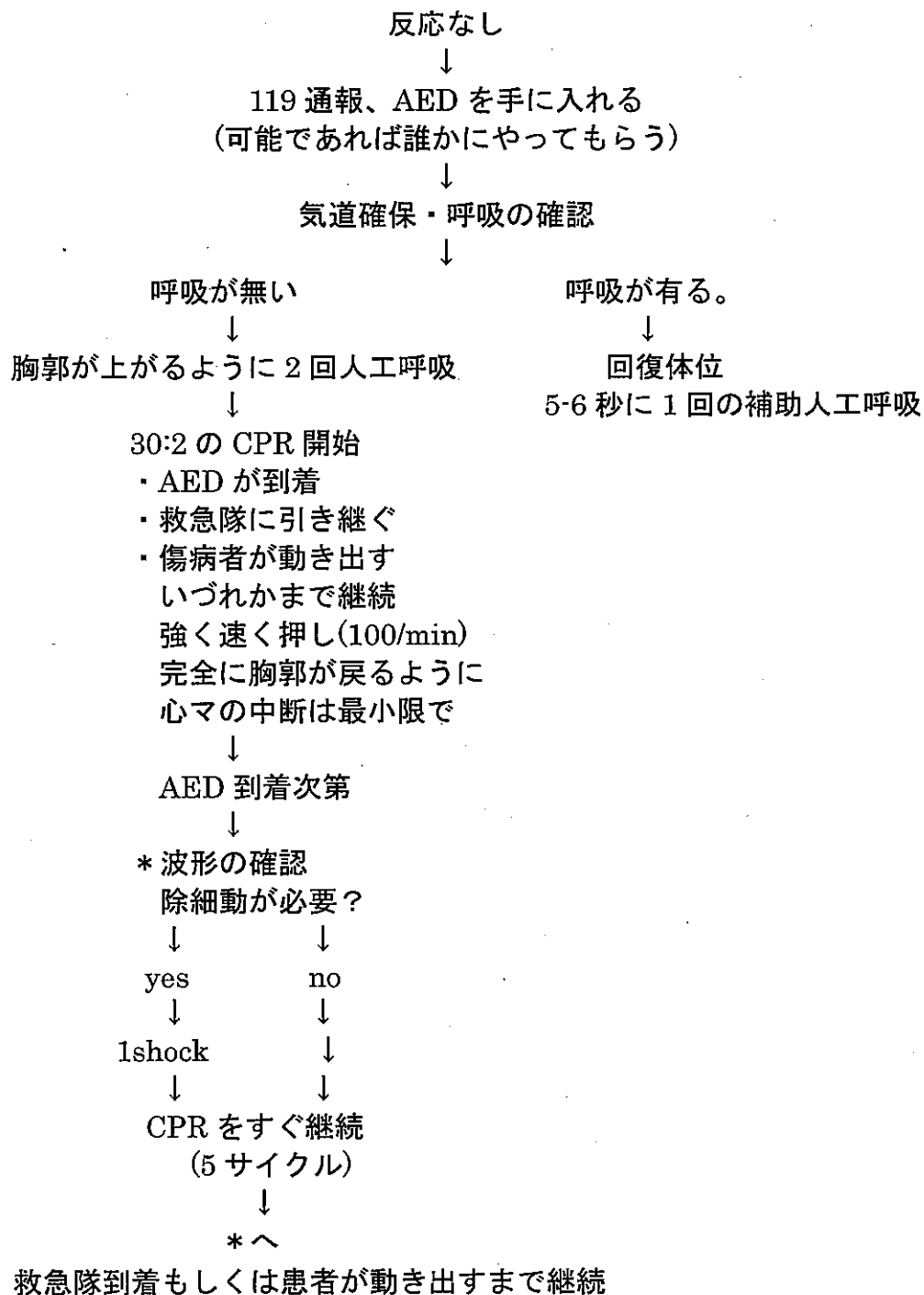
連絡先 080-5203-4636 (RB 佐保携帯電話)
(9:00~17:00の間でお願いします。)

【我ら市民救命士(AEDを用いた蘇生法)】コース予定表

3 participants to 1 manikin		time	contents
18:00~	lecture	15min	adult CPR & AED概説/Chain of Survival (スライド)
18:15~	安全確認 意識確認・通報 A 気道確保	7min	特に院外想定時は安全確認を 119通報・AED 頭部後屈顎先拳上法・下顎拳上法
18:22~	B 呼吸の確認 人工呼吸	12min	見て・聞いて・感じて、5~10秒で フェイスシールドおよびバッグマスク(一人法・二人法) 1秒/回で
18:34~	C 直ちに 心臓マッサージ	7min	乳頭間の胸骨で 100回/分で強く・速く
18:41~	A→B→Cと通して	31min	2:30 2分間 or 5サイクル 換気・交代等は10秒以内で
19:12~	break(8min)		
19:20~	AEDデモ	10min	ビデオ
19:30~	CPR & AED	35min	一人法→二人法/院外想定/二人法の2分後との交代で/回復体位まで
20:05~	FBAO	15min	意識ありのみ
20:20~	break (10min)		
20:30~	OSCE	20min	一人法→二人法/院外想定/2分後に1回交代し/回復体位まで
20:50~	総括	10min	

~21:00

市民用の AED を用いた CPR(2 人法)アルゴリズム



○ AED を用いた CPR(2 人法)の全 Step(G2005)

Step1 意識の確認：もし反応がないなら

一人に 119 通報および AED を入手するよう指示。

自分はその場に残り AED が到着するまで CPR を開始。

Step2 気道確保：頭部後屈顎先挙上法。

Step3 呼吸の確認：必要なら人工呼吸。

見て、聞いて、感じて。5~10 秒で。

呼吸が無ければ、適切な barrier device を用いて 2 回の人工呼吸。

Step4 心臓マッサージを開始し、AED を使う準備をする。

一人は心臓マッサージを開始し、一人は AED を使う準備をする。

衣服をずらすか脱がせ、心臓マッサージと AED のパッドが貼れる様にする。

Step5 AED による除細動を実施する。

AED が到着したら、使用者側の要救助者そばに置く。通常、CPR 者と反対側に置く。

2 つの例外がある。

① 目撃者のいない、小児院外心肺停止例では、5 サイクル(約 2 分)の CPR 後に AED を使用する。

② 目撃者のいない、成人院外心肺停止例では、救急隊覚知から現場到着までに 4、5 分以上かかった場合、5 サイクル(約 2 分)の CPR 後に AED を使用する。

Step6 AED の電源を入れ指示に従う。ふたを開けると電源が入る機種もある。

AED に触れる。

要救助者に適切なパッドを選択する。必要があれば小児用量の電流ボタンを押す。

パッドを出す。

適切なパッドを裸にした胸部に貼る。

パッドのケーブルを本体に差し込む。

解析前に離れる指示を出す。

離れる指示を出した後、必要があれば shock を施行する。

Shock が必要ない場合、もしくは shock 終了後すぐに心臓マッサージから CPR を始める。